

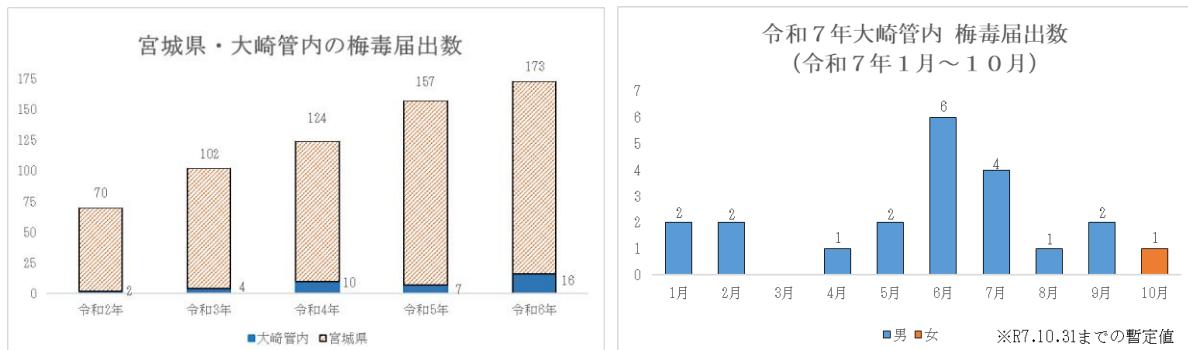
大崎管内における梅毒の発生状況等について（注意喚起）

梅毒患者の届出数は、全国的な傾向と同様に、宮城県内においても増加しています。大崎管内では、令和7年は21件（11月2日時点）の届出があり、令和6年の届出数16件を上回る数が報告されていることから、梅毒の感染に注意が必要な状況です。

報道機関の皆さんにおかれましては、大崎管内における梅毒の発生状況とその対策につきまして広く情報発信に御協力くださいますようお願いします。

1 発生状況

- ・全国の傾向と同様に、宮城県及び大崎管内の梅毒の届出数は増加しています。
- ・大崎管内における令和7年11月2日までの届出数は21件（男性20件、女性1件）です。



【梅毒届出数の推移】

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年（11月2日まで）
全国	6,642	5,867	7,978	13,221	15,055	14,829	11,884
宮城県	75	70	102	124	157	173	177
大崎保健所※	3	2	4	10	7	16	21

出典：感染症発生動向調査事業年報、感染症発生動向調査システム ※大崎圏域に所在する医療機関からの届出数

2 宮城県の検査体制【情報提供】

- (1)各保健所での検査** 匿名・原則無料でHIV・クラミジア・梅毒の抗体検査を実施しています。
完全予約制のため、事前に電話予約が必要です。（各保健所月2回程度）
- (2)郵送検査** 匿名・無料で利用可能な「HIV・梅毒郵送検査」を実施中。（仙台市内にお住まいの方を除く。受付期間：令和7年12月1日（世界エイズデー）から令和8年2月10日まで／上限数40名）

※検査詳細は県ホームページをご参照ください。

【各保健所での検査】

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/situkan/aidskensa-202004.html>

【郵送検査】

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/situkan/sekaieizu2024.html>

